

製品名: DLK1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81049**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	DLK1
別名	DLK; FA1; ZOG; pG2; PREF1; Pref-1
遺伝子 ID	8788.0
SwissProt ID	P80370
免疫原	大腸菌で発現したヒト DLK1 の精製された組み換え断片。

背景

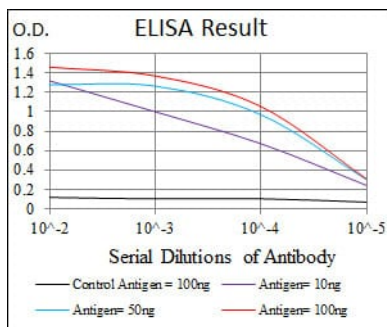
この遺伝子は、6つの上皮成長因子反復配列を含む膜貫通タンパク質をコードしています。このタンパク質は、脂肪細胞を含むいくつかの細胞型の分化に関与しており、腫瘍抑制因子としても考えられています。これは、14q32 番染色体の領域に位置するいくつかの

インプリント遺伝子の1つです。このインプリント領域の特定の変異は、14番染色体の母性および父性の片親性ダイソミー (UPD14) に類似した表現型を引き起こす可能性があります。この遺伝子は父方の対立遺伝子から発現します。この遺伝子内の多型は、小児および青年期の肥満と関連付けられています。この多型の遺伝形式は極性優性遺伝であり、この非メンデル遺伝パターンは、筋肥大と脂肪量の減少を特徴とするカリピゲ表現型のヒツジで初めて説明されました。

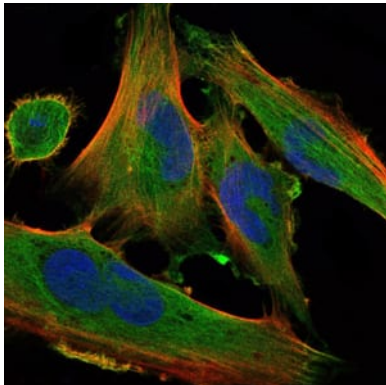
研究分野

-

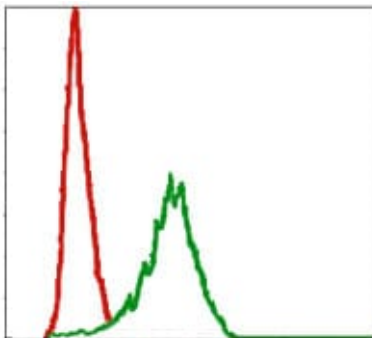
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



DLK1 マウス mAb (緑) を用いた U251 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



DLK1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。